

演奏生活60周年

舘野 泉

ピアノ・リサイタル

J.S.バッハ(ブラームス編曲):**シャコンヌ** BWV1004より

A.スクリャーピン:「2つの左手のための小品」Op.9より

“前奏曲 夜想曲”

光永浩一郎:左手ピアノ独奏のためのソナタ

“苦界浄土によせる”*

1. 海の嘆き 2. フーガ 3. 海と沈黙

新実徳英:**夢の王国**

左手ピアノのための1つのプレリュード*

I. 夢の砂丘 II. 夢のうた III. 夢階段 IV. 夢は夢見る

ハプロ・エスカンデ:**悦楽の園***

舘野泉左手の文庫 助成作品

ピエロニムス・ボスのトリプティック(三連祭壇画)による
「山な幻想曲」

*舘野泉に捧げる

2021.

2.11

[木・祝]

13:30開演(12:30開場)

三井住友海上しらかわホール

S席5,500円 A席4,500円(全席指定・税込)

主催:テレビ愛知 協力:クラシック名古屋

お問合せ:テレビ愛知 事業部 052-243-8600

(平日10:00~17:00)

クラシック名古屋 052-678-5310

プレイガイド:アイチケット 0570-00-5310 <https://elanago.com/4-ticket/> チケットぴあ 0570-02-9999 <https://t.pia.jp/> (Pコード:190-357)

ローソンチケット <https://t-ticket.com/> (Lコード:41999) イープラス <https://eplus.jp/> 名鉄ホールチケットセンター 052-561-7755

芸文プレイガイド 052-972-0430 しらかわホールチケットセンター 052-222-7117

*ご来場の際はマスクの着用をお願いします。※本公演の天候は曇り雨となります。急やむを得ない事情により、曲目・曲順などが変更となる場合がございます。ご了承ください。

演奏生活60周年に思う

我家の庭に山茶花と海棠の二本の樹が並んでいる。

山茶花はあなたが生まれた時に植えた。母が去っていた。そうだとすれば80歳の老木。

でも毎年10月から翌年1月くらいまで白とピンクの綺麗な花をまた咲かせる。

妻のマリアは冬に花を咲かせるなんて命跡みたいだ。北歐では10月から翌年5月までは雪と氷の世界。

自然に咲く花なんて考えられないからだ。

海棠は桜と同じ季節に咲く。樹全体を覆い隠すようにピンクの花が満開になると我家にも春が訪れる。

35年前に世を去った父は海棠が大好きで、毎年下手な写真を撮っていた。

先日、藝大の演奏堂で60年前に演奏したショーンソンの曲

《ウティオリン、ピアノと弦楽四重奏のためのコンセルツォ》のテーマ（巻リール）が出てきた。

もう10数年前に故人となった親友の正置勝彦ウティオリンが自分の器械を持ち込んで録音してくれたのである。

演奏しているのは私と浦川宣也、それに瀬戸隆子、白神定典と私の妹品子、弟英司。

私は藝大3年、品子は藝大2年、そのほかのメンバーは藝大付属高校3年であった。

演奏会当日、古い演奏堂は満席で床も抜けんばかり。安川加寿子先生も聴きにきてくださった。

ショーンソンは私の恋。あれを弾けたらもう心酔してもいいくらいに思っていた。

音楽に恋をし、たくさんの曲を弾いて無我夢中で疾風のように駆け抜けた演奏堂時代を思うと

未だに胸が熱くなる。60年前のショーンソンはCDに刻みなおされ、いま復活する。

あれから60年、年を重ねる喜び、悲しみ、辛さ、死と隣り合わせと感ずる孤独、

しかしそこにある潔さ、面白さ、暖かくて悲しくて素晴らしい日々。生きてきた年月は

年輪とすべすべで自分の中に刻まれている。樹も花も父も母も友も、そして音楽もともに

演奏することは、いま生きている印（しるし）。

苦海浄土を抜け、夢の王国を過ぎ、悦楽の園に至る。そしてその後は...

館野 泉



Profile

館野 泉 Izumi Tateno

クラシック界のレジェンド、84歳ピアニスト。東京生まれ。1960年東京藝術大学を首席卒業。1964年よりヘルシンキ在住。1981年以降、フィンランド政府の終身芸術家給付を受けて演奏生活に専念する。領域に捉われず、分野にこだわらず、常に新鮮な視点で演奏芸術の可能性を広げ、不動の地位を築いた。これまで北米、南米、オーストラリア、ロシア、ドイツ、フランス、北欧諸国を含むヨーロッパ全域、中国、韓国、フィリピン、インドネシアなどアジア全域、中東でも演奏会を行う。人間味に溢れ、豊かな叙情をたたえる演奏は、世界中の幅広い層の聴衆から熱い支持を得て、深く愛され続ける。これまでにリリースされたLP/CDは130枚におよぶ。ピュアで透明な旋律を紡ぎ出す、この孤高の鍵盤詩人は、2002年に脳溢血で倒れ右半身不随となるも、しなやかにその運命を受けとめ、「左手のピアニスト」として活動を再開。尽きることのない情熱を、一層音楽の探求に傾け、独自のジャンルを切り開いた。“館野泉の左手”のために捧げられた作品は、10ヶ国の作曲家により、100曲をこえる。命の水脈を辿るように取り組んだ作品は、拓いたジャンルをも飛び越え、ただそこにある音楽だけが聴くものの心に忘れがたい刻印を残す。2012年以降は海外公演も再開し、パリやウィーン、ベルリンにおいても委嘱作品を含むプログラムでリサイタルを行い、満場の喝采で讃えられた。80歳傘寿記念公演では、自らに捧げられた作品2つ、左手作品の最高峰ラヴェルとヒンデミット、この4つのピアノ協奏曲を一気に演奏。2019年は日本とフィンランド国交100周年親善大使として、5月にラ・テンペスタ室内管弦楽団(フィンランド)日本公演を5都市で行なった。2020年、演奏生活60周年を迎えて、全国ツアーを行う。もはや「左手」のことわりなど必要ない、身体を超える境地に至った「真の巨匠」の風格は、揺るぎない信念とひたむきな姿がもたらす、最大の魅力である。新刊「館野泉フォトストーリー(求龍堂刊)。オフィシャル・ホームページ <https://www.izumi-tateno.com/>

コンサートへご来場の皆様へのお願い

<p>マスク着用のうえご来場ください。手洗い・指先の消毒にご協力ください。</p> 	<p>発熱や体調不良の場合はご来場をお控えください。</p> 	<p>入場時の検温にご協力ください。</p> 	<p>会場内で新型コロナウイルスの感染が疑われる来場者が出た場合、行政機関・保健所の指導のもとに、主催者として、チケット購入者の個人情報を収集し提供する必要があります。</p>
<p>客席内ではマスクを着用し、会話を控え、自席で静かにお過ごしください。</p> 	<p>会場内での社会的距離の確保をお願いいたします。</p> 	<p>ホール内の換気による外気との寒暖差が発生する場合がございますので、服装にご配慮ください。 ※ブランケットの貸出はございません。</p> 	<p>「ブラボー!」等の掛け声はご遠慮ください。</p> 